

[成果情報名]新たに選定された優良乳用供卵牛

[要約] 2014年度に新たに能力評価された4頭の供卵候補牛のうち2頭を優良乳用供卵牛として選定する。

[担当]酪農試・乳肉用牛科・土橋宏司

[分類]技術・普及

[課題の要請元]

畜産課

[背景・ねらい]

アメリカから導入した高能力牛および輸入受精卵産子由来の娘牛等について能力検定等を行い、その遺伝的能力評価に基づいて優良乳用供卵牛の選定を行う。選定した供卵牛から生産した受精卵を県内供給し、酪農経営の向上および畜産物の安定供給に資する。

[成果の内容・特徴]

1. 2014年度に新たに能力評価された供卵候補牛4頭のうち、総合指数で全国上位25%以内であった2頭(No299, No300)を優良乳用供卵牛として選定する(表1、表2)。
2. 選定した優良乳用供卵牛の特徴
 - No. 299は総合指数+2,541(全国上位3%)で、産乳能力は乳量や乳代効果に優れており搾乳性も良好である。体型資質は肢蹄および乳用強健性・乳器の得点が高く、全体的なバランスに優れ次世代の改良が期待できる。
 - No. 300は総合指数1,571(全国上位20%)で、産乳能力は乳量や乳代効果に優れており搾乳性も良好である。体型資質では肢蹄や乳頭配置に改良の余地が見られるが、前駆等の発育に優れ次世代の改良が期待できる。
3. 今回、新たに選定した2頭を加えることで、繋養中の優良乳用供卵牛は15頭となる(H27年1月末現在)。

[成果の活用上の留意点]

これらの優良乳用供卵牛から生産される受精卵の在庫状況や採卵予定等については常に変動しているため、詳細は酪農試験場まで問い合わせる。

[期待される効果]

優良乳用供卵牛から生産された遺伝的能力の高い受精卵の活用により、県内酪農家牛群の改良が図られる。

[具体的データ]

表1. 選定した優良乳用供卵牛の概要

牛No.	個体識別番号 生年月日 分娩月日	名号および血統
299	12591-4206-0 H23.8.2 H25.11.12	ロングヒル プラネット ジヤステイス レオナ 父:エンセダナ タブー プラネット ET 母:ロングヒル ジヤステイス セルシアス サターン(273)
300	12591-4207-7 H23.8.9 H25.12.10	ロングヒル シャーキー モーティー プライムローズ ET 父:ジュエルドエーカーズ シャーキー ET 母:ロングヒル モーティー セルシアス プリムローズ(256)

表2. 初産時成績の概要

牛No.	分娩状況			検定成績(305日補正)				搾乳性	
	在胎 日数	産子 状況	分娩 難易	乳量 (kg)	乳脂 (%)	蛋白 (%)	SNF (%)	搾乳速度 (kg/分)	前後 乳房量比
299	284	雌(H)	易	11,192	3.9	3.1	8.7	4.39	54:46
300	282	雌(H)	易	11,200	3.5	3.0	8.7	3.55	50:50

牛No.	遺伝的能力評価(2014-8)												
	総合 指数	(% 順位)	各成分(%順位)			乳代効果 (円)	EBV						
			産乳 成分	耐久性 成分	疾病 繁殖		乳量 (kg)	乳脂 (%)	蛋白 (%)	SNF (%)			
299	+2541	(3)	+2288	(3)	+238	(40)	+15	(38)	+132,891	+1579	-1.00	-0.03	-0.03
300	+1571	(20)	+1489	(18)	+132	(57)	-50	(89)	+106,933	+1359	-0.21	-0.12	-0.08

牛No.	発育(24か月齢)				体型得点(初産時)				
	体重 (kg)	体高 (cm)	胸囲 (cm)	腰角幅 (cm)	体貌と 骨格	肢蹄	乳用 強健性	乳器	決定 得点
299	550	145	200	54	79	83	83	82	82
300	611	149	206	52	83	77	80	79	80

[その他]

研究課題名：優良乳用供卵牛選抜事業

予算区分：県単

研究期間：1993年度～

研究担当者：神藤 学、内田雄祐、土橋宏司、鈴木希伊